

普及活動情勢報告（令和元年 8 月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

黒潮町佐賀北部地域の集落間連携に向けて・・・黒潮町集落営農先進地視察研修・・・



7 月 22 日、黒潮町佐賀北部地域の集落営農組織及び中山間直接支払組織の代表者 10 名と、法面のセンチピードグラス吹き付けについて、愛媛県東温市にある「（農）アグリすのうち」と「PAC 下林」を視察しました。

各組織の代表者から、導入した経緯や地域住民への働きかけ方、管理作業や費用等について学ぶことができ、広域化の取り組みへの意欲を高めることができました。

農業改良普及課は、継続して組織間の連携や省力化につながるセンチピードグラス等の導入及び集落間連携に向けた取り組みを支援します。

イチゴ育苗現地検討会

・・・JA 高知県宿毛支所イチゴ部会・・・



7 月 23 日、JA 高知県宿毛支所イチゴ生産者 8 名が参加して、育苗現地検討会を開催しました。

農業改良普及課は、各ほ場の状態を確認しながら、今後の育苗管理について指導を行うとともに、生産者同士で肥培管理の状況や株の生育状態について活発な意見交換が行われました。

今後も定期的に現地検討会を開催し、生育ステージに応じた栽培管理について指導を行っていきます。

四万十市の農地を継続して守っていくために・・・四万十市集落営農組織連絡協議会・・・



8 月 2 日、四万十市集落営農組織連絡協議会が開催され、8 集落営農組織 13 名が参加しました。四万十市農林水産課から四万十市（中村地域）の集落営農の現状と課題について説明があり、その後、農業改良普及課からは、他県の集落営農組織の広域連携事例について紹介しました。

参加者からは、連携した場合の事業活用についての質問や、合併は難しいが連携ならできるかもしれないといった意見が挙がりました。今後は、アンケートを実施し、各組織の現状や今後の意向を確認し、地域にあった将来方向を検討していきます。

作業員みんなで取り組む、公社の経営改善

・・・三原村農業公社第1回公式会議・・・



8月2日、三原村農業公社で公社幹部と各栽培班長、三松アドバイザー、役場を交え、公社の経営改善に向けた具体的方法について協議が行われました。事業戦略サポートセンターから助言があった栽培資材・作業などのムダをなくす方法について協議した後、農業改良普及課からは、ユズの省防除や樹勢維持のための園内雑草の高刈りを提案しました。班長からは率直な現状や課題が出され、一部の提案は合意が得られるなど、改善に向けた前向きな議論がなされました。

奥屋内のユズ園を守っていこう！

・・・黒尊川営農組合役員会・・・



8月8日、四万十市奥屋内地区で黒尊川営農組合の役員会（4名）が開かれ、地区のユズ産地維持のための協業化及び法人化の推進について協議しました。

農業改良普及課からは法人化による具体的なメリットを説明しました。また、協業化できそうな園地を選ぶために、地区内全生産者の基礎データを示し、役員から各生産者の後継者候補の有無、栽培継続意思や農地貸借希望を聞き取りました。法人化の必要性については、役員の意味統一がおおむねできてきたので、継続した話し合いを支援していきます。

幡多地域で就農しませんか？

・・・幡多地域就農相談会・・・



8月16日、市町村、JA、県農業関係機関が連携し、JA高知県幡多地区本部において就農相談会を開催し、7組9名が参加しました。

全体会で研修や新規就農、ハウスに関する事業概要、制度資金等について説明し、その後市町村別に個別相談を行いました。

参加者からは「事業や資金の内容を知ることができた」「個別相談で具体的な話を聞いて良かった」などの感想が聞かれました。農業改良普及課は、就農相談会に出席していただいた方々の意見をふまえ、関係機関と連携して、新規就農者の確保・育成に向けて取り組みます。